

吹田市立武道館指定管理者候補者選定委員会 議事概要

1 開催日時

令和7年（2025年）1月17日（金）午前10時00分から午前12時30分まで

2 開催場所

吹田市立武道館 会議室

3 出席委員

（委員長）橋本 行史委員、（副委員長）山野 薫委員

福澤 靖治委員、江口 眞知子委員、小山 奈邦委員

4 公開・非公開の有無

非公開

5 非公開理由

吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針の第9項第2号、及び吹田市情報公開条例第7条第3号（審議会等に関する情報）の規定による。

6 次第

1 吹田市立武道館指定管理者候補者選定委員会委員の紹介

2 委員長及び副委員長の選任

3 第三者モニタリング評価

（1）モニタリング評価の手順について

（2）市の評価に対する確認

（3）各委員の評価（指定管理者のヒアリング）

（4）答申

4 その他

【第三者モニタリング評価の議事概要】

1 管理運営内容について

委員

指定管理者の収支について、令和4年度及び令和5年度は赤字となっております。単年度で見ると赤字となったり黒字となることがあると思いますが、このことについて指定管理者の考え方をお聞かせください。

指定管理者

本施設の指定管理者は、公益社団法人吹田市体育協会と美津濃株式会社、ミズノスポーツサービス株式会社で構成された共同事業体となっております。

黒字が出た場合については、次年度の事業に還元するために充当しなければならないと考えています。また、赤字が出ても次年度の事業において、赤字を黒字に戻すという考え方を持っています。

基本的には収支プラスマイナスゼロを目指しながら、指定管理者として市民のために還元するという事業目的に専念するという考えのもと管理運営を行っております。

委員

施設の清掃が行き届いており、丁寧管理されていると思いました。

公共施設として様々な取組を行い、利用者数を増やすということが求められます。令和3年度からの指定管理期間において、コロナ禍も経験した中で、年度ごとの利用者数の変化を教えてくださいませんか。

指定管理者

令和3年度は50,887人、令和4年度は73,880人、令和5年度は76,574人の利用人数があり、徐々に増えてきております。しかしながら、災害やコロナ禍による影響を受ける前の平成29年の利用者数の10万人に届いていないというのが現状です。新たな自主事業を計画するなど利用者数を増やすための方策を検討中です。

委員

平成29年度の利用人数の10万人は最大値なのでしょうか適正な規模でしょうか。人数目標は、市とのやり取りの中で出てくる目標ではないかとは思いますが、オーバーツーリズムや人口減少などの社会現象がある中で、何万人がどのように利用すればよいかという目標は持っているのでしょうか。

事務局

現在は利用人数の目安を具体的な数字としては示していません。コロナ禍で特に高齢者の利用が減少し、コロナ禍を経てもなお行動変容として影響していると感じています。以前に利用していただいていた方の利用がすぐに戻るかというと、そうではなく、もとに戻すというのはなかなか難しい部分もあります。しかし、今後、新たな利用者呼び込むという点においても、利用者数の増加に向けて方策を考えていきたいです。

委員

収支のプラスマイナスゼロを目指していきたいということでしたが、令和 5 年度の収支報告書を見ると、3,345,625 円の赤字が出ている状況です。

今後、これをどのように経費削減して収支プラスマイナスゼロに持っていこうと考えられているのか教えてください。

また、令和 4 年より令和 5 年の方が管理運営経費の削減できています。どのような成果が出て経費が削減されたのか教えてください。

指定管理者

令和 5 年度の経費削減については、令和 4 年度は光熱費の高騰により経費が増加しましたが、令和 5 年度には高騰が落ち着いたことや、消耗品に係る経費が削減したことによるものです。

今後の経費削減の方策についてですが、自主事業の収入により経費の支出分を補いたいと考えています。

武道館は令和 3 年度から 5 年間の指定管理を行いますが、経費に人件費の上昇を見込んでいません。人件費などは今後上昇傾向にあるので、削減が難しいですが、次期指定管理者の公募時には、人件費上昇分の経費の確保を考えています。

委員

利用者数について、市内利用者と市外利用者の利用比率はどれくらいですか。

指定管理者

個人使用では、令和 2 年度は市内が 70%、市外が 30%、令和 3 年度は市内が 60%、市外が 40% 令和 4 年度は市内 65%、市外 35%、令和 5 年度は市内 65%、市外 35%の利用割合となっています。

委員

施設へのアクセス方法ですが、ほとんどの方が電車で来られるのですか。

指定管理者

電車で来られているという方が多いです。大会の際は大人数で来られるので、車で乗り合わせて来場される方も多くなります。

委員

市内の方より市外の方からの方が武道館の認知度は高いのでしょうか。

指定管理者

各市に武道館があるわけではないので市外の方の利用が比較的多いということや建設されて長く、32 年になる施設なので、認知度が高いと考えております。

事務局

補足させていただきますが、近隣他市において武道に特化した施設がある市町村が吹田市と豊中市になります。体育館に小さな板の間や畳の部屋があるケースはありますが、武道

に特化した施設が北摂であまりないという関係で吹田市の武道館は他市の利用者が多いと考えられます。

委員

意見とさせていただきますが、経費をかけてより良いものを提供するという考えは良いのかもしれませんが、施設の使用料が安い方が利用者としては嬉しいです。そういった意味では、利益が上がるように動いてほしいという気持ちはあまりないです。施設を綺麗に維持管理しているので、引き続き、現状の施設管理を維持してほしいと思います。

委員

意見ですが、今日、武道館には茨木市の駅からバスに乗って記念公園西口から徒歩で来ました。前はモノレールの山田駅から徒歩で来ました。少し歩かなければならないですが、健康な人であれば少しは歩いてもいいかなと思える距離だと思います。

やはり施設の利用促進には、アクセスも影響してくると思います。武道館の管理運営とは論点が離れてきますが、市内の主要な場所を巡るコミュニティバスのようなものがあればよいと考えます。

委員

指定管理者制度とは、民間事業者に管理してもらう、スポーツ団体等が管理するという制度設計において、企業の効率的な運営と市民参加型の事業を展開する管理運営ということで議論したことがあります。市民参加型の事業展開のメリットと現状とその課題は何かありますか。

以前、ノルディックウォークや武道を専門的にやっている方以外の方が参加できる自主事業を行っていると聞きましたが、現状はどのようなことを行っていますか。

指定管理者

自主事業として、レッツウォーキングやノルディックウォーキング、空手でエクササイズ、ピラティス、ゆったりセルフケアを行っております。自主事業の種類をもう少し増やしていけたらと考えています。ミズノと共同事業体として管理運営しているので、民間のノウハウをいかしていきたいと考えています。

指定管理者

補足ですが、前回の第三者モニタリングの際、武道館の素質をいかした茶道や華道を取り入れて様々な事業を展開してはどうかとご教示いただきました。吹田市立武道館条例に基づいて管理運営しているので、それだけの事業は難しいとお答えしましたが、市と相談し、武道の事業に組込むことで事業を展開していくことは可能だと考えます。今後、新たな事業を提案していきたいと考えています。

2 利用者満足度について

委員

利用者アンケートの内容について、利用回数を尋ねるアンケートがありますが、回答結果として月1回利用される方の割合、2回の方の割合といった形で集計されていますが、その中でその他と集計されている部分については、どのような内容の回答になりますか。

指定管理者

利用頻度が月1回であったか2回であったかというアンケートの選択肢だったので、例えば、年間14回利用したという方がいれば、月1回の利用なのか2回の利用なのか判断がつかず、その他という回答を選択したという方が多かったものだと考えます。

委員

その他の回答者の割合が53%というのは数が多いかなと思うので、改善したほうが良いと思います。例えば、回答の選択肢に「おおむね月1回の利用」というような選択肢を作った方が回答しやすいと思います。人によって、大会がある前はたくさん利用するけど日ごろはあまり使わないというような方もたくさんいると思います。

委員

アンケートの項目が少ないように思います。

指定管理者

アンケートの選択肢や内容については今後見直したいと考えます。

また、市外利用者方に対して、北摂のどこの市町村から来られているか尋ねてはどうかという前回の第三者モニタリングでの御意見を受けてアンケートの質問に盛込んでおります。

委員

利用者の目線に立ち、アンケートの内容を見直していくとよいと思います。

アクセスの悪いところにどのようにしてくるのかをアンケートを取って、その結果、どのように対策すればよいのか考えられるようなものになればよいと考えます。

指定管理者

施設をよりよくするためには利用者の声が大切だと考えています。アンケートを改善し、どのような方法で来られているかなど、次回のアンケートにいかしていきたいと考えます。

委員

アンケートはどのように実施されているのですか。

指定管理者

大会や教室の際にアンケート用紙を配って集計しております。

委員

最近は QR コードを読み込んでスマートフォンで入力できるような仕組みもありますので、年代にもよりますが、紙媒体と QR コードでの読取式と両方を駆使すれば件数も集まると思います。

委員

武道館の利用者からの意見で特定の通信会社の回線がつながりにくいという内容のものが上がっていますが、これについてどうお考えですか。

事務局

特定の通信会社の回線がつながりにくいという状況にありましたが、当該通信会社の携帯電話基地局を行政財産目的外使用として設置しておりますので、通信状況は現在、改善されております。

委員

異常気象の日が多くなる中でそれに合わせた冷暖房設備の設置がほしいという利用者からの意見がありますが、武道館に冷暖房設備はないのですか。

指定管理者

観客席については冷暖房が設置されているのですが、武道室にはありません。扇風機や冷風機を設置し、対応しています。

委員

夏場にお子さんが教室に参加する際も、冷風機や扇風機をつけて対応されているということでしょうか。

指定管理者

冷風機や扇風機の設置のほか、W B G T 値を図り危険な時は声掛けをする、窓を開けるなどをして工夫はさせていただいております。

委員

天井の汚れが気になりますが、対応は考えておられるのでしょうか。
他の部分はとても綺麗なので気になりました。

指定管理者

20 万円未満の小規模な修繕は指定管理者で対応していますが、供用開始からの年月を考えると古い施設になりますので、優先順位をつけながら修繕を行っているという状況です。

委員

修繕について計画を立てていますか。

事務局

スポーツ施設の老朽化により、今後、スポーツ施設全体として大規模修繕を行わなければならない状況ですが、スポーツ施設整備計画を作成中で、資産経営室と協議しながら、どのような形で施設を維持していくのか検討している段階です。今後については、年次的に改修が行われていく見込みです。修繕については、年1回、各施設の修繕事項について双方で協議する機会を設けており、優先順位をつけて実施しています。

委員

利用者満足と同時に従業員満足も必要だと言われますが、コンプライアンスの面でセクハラ、パワハラが生じないようなシステムの整備が必要であると考えます。声をあげられる方のための窓口が内部組織であると、申し立てにくいという状況がありますが、窓口が第三者窓口になっているかどうかをお聞きします。

指定管理者

指定管理者で設置しているのは内部通報窓口であり第三者窓口ではありません。委員からの御指摘を踏まえて、今後、第三者窓口の設置については検討させていただきます。

3 サービス提供の継続性及び安定性について

委員

吹田市体育協会は主にどのような事業をされているのでしょうか。

指定管理者

公益社団法人として、各指定管理事業の他、市長杯などの大会の実施事業を行っており、連盟が36連盟が加盟しておりますが、各連盟主催の大会運営の調整を行っています。また、スポーツ広報として年1、2回のスポーツ報の発行や、ホームページによるスポーツ情報の発出、表彰事業としまして、文化功労者の推薦なども行い、定款に従って事業を展開しております。

委員

公益社団法人という仕組みを取られているので、事業拡大を一方的に進めるということが難しいという点があったので、お聞きしました。

4 今後期待される点やその他について

委員

ミズノと共同事業体を構成しているメリットはどのような点でしょうか。

指定管理者

メリットはミズノのレベルでの指導ができる指導員がいるという点です。指導を通じて市民や次世代を担う子供たちに還元できるノウハウを有しており、非常に重要な構成団体と考えています。

委員

ミズノというスポーツ指導者としてのレベルが高く、それを市民に還元できる、そういったメリットがあるということですね。

委員

スポーツ指導による市民への還元ということですが、ここは武道館なので、柔道や剣道などの指導を行い、武道に接して過ごした子供たちが自慢できる、そういった施設を目指していただきたいと思います。

委員

事業計画書の中で、柔道の井上選手がミズノに所属していると確認しましたが、そういった有名なアスリートによる、子供への指導の機会なども増やしていったほしいなと思います。

指定管理者

ミズノの強みとして、清水希容選手などのトップアスリートを起用した事業を実施できることを強みとしています。地域貢献、地域のスポーツ振興、スポーツを楽しんでいただくことを目的としています。

委員

大企業は、年間の事業計画が決まっていると思いますが、突然の事業の変化や内容の変更に対応しきれないというようなことはないでしょうか。

指定管理者

ミズノの強みとして全国で185件、施設数にすると1,000件を超える指定管理施設を管理しています。確かに、企業として大きな事業目標はあり、簡単に変えることはいい意味ではないですが、現在管理している施設ごとに目標設定があるので、そういったものについては状況に応じて柔軟に調整しています。